

手ヲひら

一人でくらしていろと いくらへんば

が来ていても 自分でやり 実行していく

ことはさけられぬ

ハルバ―は ますうたニとはしてこれる

こういふ方がいゝし ほかにもこうちが存し

いふ

自分で全うしていく 自己の針が

きまゝでいいからなる

小さいこと 大きいこと すすんで

いきとどかせよう 自己の思い

それか、シンドイと思つた

能くおこなうて来たしるし

ほんの少し 不具合がある

しつう、 お願いと しゃべら

何ごともあるか、たうた 素直で来たの

少すれてしるす

でも今日は 全部終了

お大事おとどかす、 確認を

して、 とどかす所へ 別原で送る

すきせに

おくとていゝ手紙 かな終つに

是に答へるゝ予報への存在 年終終了すゝ

貴品の依頼は これおろ見当

おれは出るゝ 子に出来るゝ

年をとるゝいゝ 二つく原い

おれはととけすゝ

今こゝでかき出す右の年のひろを見ゝと

みどとにこわしゝに

いつかろこん原に原ゝにのこ

手どしわの甲に手があゝらゝに この手

けにういて柔石のた としおじ子解を見ゝ

まつと頭の中をしくかむしれろん

しわに髪をこけいうれろい

年をとるゝろい 方法を考ゝろい

手の心ろいゝと見ゝ

2022  
11/27